

土砂災害防止のために今私達ができること
山梨英和^{やまなしえいわ}中学校 二年 桂^{かつら} 希綾^{のあ}

わたしは、土砂災害について調べようと思
った。きっかけは、近年日本下土砂災害による
被害がたかさんあるからです。台風が異常な
ハラスで発生し、それにより住む家を失った
り、避難所生活をしている人々の映像をニコ
ニコで見るとなりました。そこでなぜ、
日本下は土砂災害が多発しているのか、疑問
に思いました。また、土砂災害の被害を少し

でも減らすには、私たちが日々の生活の中
でのようなことに気をつけ、意識しなければ
いけないかを改めて考えたと思います。

土砂災害はなぜ起きてしまうのでしょうか。
それは、日本の気候、地形、降水量に
関係しています。そもそも、土砂崩れとい
うのは、崖崩れ、土石流、地滑りの三種類を指
します。日本は世界に比べ降水量が多いので、
それに比例して土砂災害が多いのはないか、
と言われている。また、日本は山が急な斜面が

多いので、そのことも土砂災害が発生することに関係していると思います。

二〇一九年十月には、台風十九号が日本に大きな影響を与えました。それにより、百人近くの人々が命を落としました。私が住んでいる山梨県では、山が他県より多いので土砂災害が起る可能性が高くなっていました。私の家周辺の地域は幸いにも避難地域に入らなかったのですが、友人が住んでいる地域で大雨による

土砂災害が起こっていたというニュースを見たことをよく覚えています。また、私の家も停電になり、水道も止まりました。私も怖かったです。

この台風を経験し、土砂災害は突然起きるので避けられないことが多いですが、事前にしっかりと対策をしておけば土砂災害の被害を少なくできると考えました。日本には、土砂災害防止法というものがあります。それは、土砂災害から国民の命を守るため、土砂災害

の恐れがある区域を明らかにし、警戒避難体制の整備などの対策を推進しようとするものです。

この防止法に基づいて私が考えた対策としては、各家庭に配られているハザードマップを確認することです。ハザードマップは、災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で使われています。主に防災関係施設の位置や、予想される災害が起こった際の被害状況、避難経路等の情報が地図上にのっていきます。それを家族で見ることにより、どこに避難すればよいかを家族で確認しあうことができません。また、ケータイに災害情報を知らせてくれるアプリを入れることで、いち早く自分の住んでいる地域の情報を知ることができします。わたしの家では、災害に備え家族分の避難袋とハザードマップを準備しています。また、家族と離れてしまったときのために、集合できる避難場所を決めています。

また、住んでいる地域の土所災害警戒地域

を知ることも大切です。そもそも、土砂災害警戒地域とは、土砂災害が発生した場合、人の命、または身体に危険が起きる危険がある」と認められる土地の区域のことです。これは、過去の土砂災害による土砂災害による土砂の到達範囲などから設定されています。実際に、山梨県下は、平成十八年二月に二十六个市町村で七千九十一箇所指定されました。これを確認することにより、土砂災害の被害が及ぶ可能性がある」と災害が起こる前に認識

することができません。また、私は自分の地域が土砂災害警戒地域に指定されていることを知り、災害への危険性を再確認することができたとお思います。

今回、土砂災害のことを調べるにあたり、いろいろな防止策、対策を知ることができました。しかし、対策などをしているつもりでも、意外にできていないところもあるかもしれません。下のバナーなどを駆使して、災害対策をしていくことが大切だと思います。

た。

これからも、一人一人が自覚を持ち、土砂災害の被害を防止するため、また自分の命を守るために対策を進めていくことが大事だと考えました。